ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成28年1月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

2016年
January
NO.56
1

Pick up ふるさとの年末年始!

久之浜 大久

12月17日に行われた、平第一幼稚園と久之浜第一幼稚園の総勢263名の園児による餅つき会。70kgの餅米が父母の会のみなさんと先生方によって蒸上げられ、元気な園児が待つ臼の元へ。「わっしょい！わっしょい！」子どもたちの元気な掛け声が師走の空に響き渡りました。

四倉

震災を乗り越えた美容室
幼稚園と保育園で発表会

平

豊間少年サッカーチーム
豊間小ことばの学校

小名浜

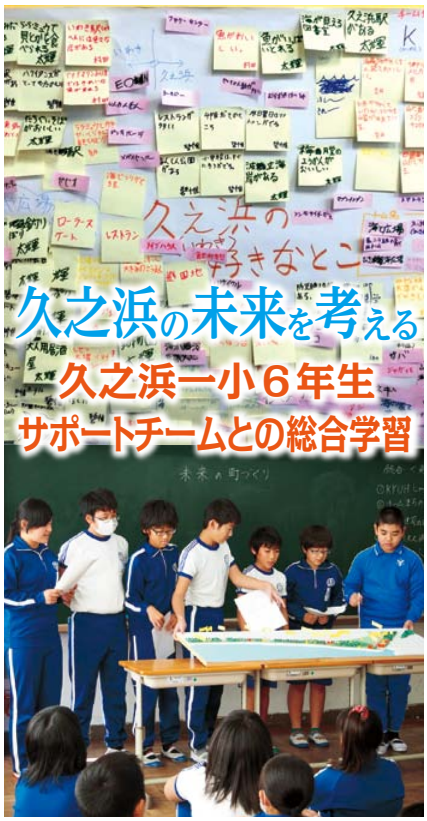
子どもたちの発表会
小名浜の年末年始特集

勿来

ふるさとの伝統食を継承
2年目となるサロン祭り

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!(見方はP11)



昨年夏、久之浜一小６年生の総合学習「未来のまちづくり」が始まりました。授業進行は久之浜・大久地区まちづくりサポートチームメンバーが担当。左記の様に５つのチームに分かれ、７回14時限に及ぶ久之浜の未来を考える活動を進めました。

①「久之浜ならではの防災緑地を作りたい」

自転車道と遊歩道を軸にキャンプ場など防災緑地に欲しいものを考えました。

②「海辺に人の集まる久之浜にしたい」

海辺や防災緑地に人を集めるため、様々な施設や遊具などを考えました。

③「思い出、交流、観光を大切にするまちづくり」

久之浜で大切な場所。幼稚園跡地、海、駅前を中心に、まちづくりを考えました。

④「久之浜で出来ることと出来ないことを考える」

産業について考え、喫茶店、釣具店などの営業を紙芝居で発表しました。

⑤「自慢できる久之浜にしたい」

大人から子どもまで楽しめる名所やお店が載った観光パンフレットを作りました。

11月27日の総合学習最終日。33名が考えた久之浜の未来が地区の皆さんの前で発表されました。総合学習の様子は、サポートチームにより冊子にまとめられ、多くの地区住民に向けた発表も検討されています。

楽しい中にも真剣に故郷の未来を考えました

発表でのイメージを固め話し合いが進みます

発表直前まで繰り返し練習が行われました

14回の総合学習、多くのアイディアが出されました

第一幼稚園　生活発表会

12月13日、平第一幼稚園、久之浜第一幼稚園合同で生活発表会が開かれました。総勢263名の園児たちは元気に壇上に上がり、お遊戯や劇など練習の成果を披露。父母のみなさんもカメラを手に撮影するなど笑顔あふれた発表会でした。

263名の大所帯。3部に分かれて発表会が行われました

久之浜保育所　保育発表会

12月19日、久之浜保育所の保育発表会が開かれました。年少のもも組のお遊戯で発表会がスタート。お遊戯や劇の発表の後、クリスマス会も開かれ、サンタさんから一人ひとりプレゼントが渡され、子どもたちは大喜び。楽しい一日でした。

14名の少人数。でもみんな一緒に楽しい時間を過ごしました

復興へ向けた動き

震災の記憶を後世に証言集の完成

昨春、編集委員を公募し製作が始まった「東日本大震災久之浜・大久証言集」。小学5年生から80代の地区住民59名による証言、写真や地区の復興への歩みを記した一冊が完成しました。

12月11日、久之浜・大久地区復興対策協議会吉原二六会長、鈴木玉江さんら4名の編集委員が市役所を訪れ、清水市長に証言集の完成を報告。「震災を風化させることなく、あの時の体験や想いを後世に繋ぐ地域の宝として役立てたい」と吉原会長が話しました。

証言集完成を清水市長に報告した吉原会長と編集委員たち

4度目の桜植樹と〈竹かぐや〉

動画が見られます！

静岡県のチーム桜龍in久之浜（代表佐野比呂子さん）による桜植樹が、12月19日いわき海浜自然の家で行われました。鈴木勝幸田之網区長、吉原二六復興対策協議会会長らも植樹に参加。午後には、かぐや姫伝説発祥の地と言われる富士市を中心に、「竹かぐや」と呼ばれる竹灯篭によるまちづくりを行うフィルネット（井上信次代表）による竹かぐや製作も行われました。

津波避難場所ガイド

●福島県いわき海浜自然の家

●住所／いわき市久之浜町田之網字向山53

●面積／2,329㎡

●海抜／69.6m

かつての町並みを再現 記憶の街プロジェクト

かつての町並みを模型で再現し、思い出や文化を後世に伝えよう。東日本大震災の被災各地で行われてきた「失われた街」模型復元プロジェクトが、市内で初めて久之浜で開かれました。

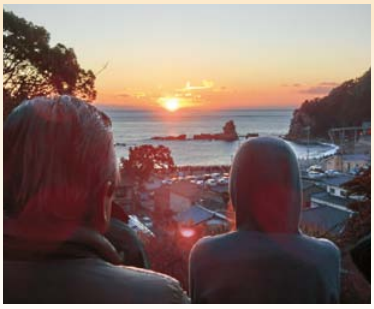
12月6日久之浜東団地集会所で開かれた模型公開製作

年末年始　久之浜・大久

11月29日 企業人ボラバス 有志の会もちつき

動画が見られます！

12月13日 商工会青年部サンタが街にやってくる



震災以来続く新たな恒例行事と25回を迎えた伝統の行事、そして故郷の歴史に触れる企画展など。例年より暖かな師走が過ぎてゆきました。そして迎えた新年、波立海岸を臨む、田之網三嶋神社境内には地区の皆さんが顔をそろえ、初日の出を拝む姿が見られました。

12月7日 子ども会育成会 第25回浜っ子大会

動画が見られます！

12月19日～1月7日 アンモナイトセンター「琥珀の秘密」展

お客と笑顔で会話をしながら仕事をする門馬裕美さん

震災を乗り越えた親子二人三脚の美容室
ニューサロン 裕美

四倉町東三丁目にある〈ニューサロン裕美〉は、門馬裕美さんと母親のシヅ子さんが親子で営む美容室です。

あの大震災の日、裕美さんは海岸沿いにあった自宅近くで津波に遭い、腰まで海水に浸かりながら避難しました。

四倉高校体育館の避難所で1週間ほど過ごす間、友人や親戚が食べ物や衣類などを持って駆けつけてくれたそうです。

「おにぎりを百個も握って届けてくれた友人もいて、とてもお世話になりました」と裕美さんは振り返ります。

また、シヅ子さんが経営する美容室があった四倉町西三丁目にも津波が及びましたが、美容室は建物の2階だったため仕事の道具は無事でした。

「水道も断水していなかったので、『お店を再開して欲しい』とのお客さんの声に押されました」とシヅ子さん。裕美さんも「母は仕事が大好きで、お店を開けたくてしょうがなかったんです」と話すように、震災から約1ヵ月後の4月7日に営業を再開しました。

しかし、建物を取り壊すことになり、美容室は東三丁目の現在地に移転。

この道30年の門馬シヅ子さん(右)と、娘の裕美さん

震災前は平の美容室に勤めていた裕美さんも、シヅ子さんと一緒に働くことを決意しました。当時は大工などの職人が人手不足だったので、新店舗の内装工事は、裕美さんも手伝って完成させ、同年11月に再オープンしました。

「失った物も大きかったですが、震災を経験したことで学んだこともあったし、家族や友人たちとの絆も一層深くなったと感じています」と裕美さん。震災を乗り越えた仲良し親子が、力を合わせてお店を切り盛りしています。

上手にできたおゆうぎ会

12月5日、四倉保育所のなかよしホールでおゆうぎ会が開かれ、約80名の園児が参加しました。

もも組の「おもちゃのチャチャチャ」

子どもたちは、ちょっぴり緊張しながらも、この日のために練習してきた遊戯やオペレッタ、合唱、言語劇などを披露。保護者席からは温かい拍手が送られました。

うめ組の「おどるポンポコリン」

元気いっぱいの生活発表会

四倉第一幼稚園の生活発表会が12月6日、四倉小体育館で開かれました。

約40名の園児たちは、ばら、もも、たんぽぽの組ごとにダンスや音楽劇、合奏などを元気いっぱいに発表し、会場に詰めかけた保護者らは、わが子の成長ぶりに目を細めていました。

もも組の「きたかぜとたいよう」

合奏を発表した園児

CHECK! 動画が見られます!

復興へ向けた動き

2市道で津波避難路整備工事

国道6号線から県道豊間・四倉線に通じる前原・横川線と上仁井田・戸田線のふたつの市道で、現在、避難道路の整備が行われています。

大震災の津波浸水区域から区域外への避難路として、道路の側溝を部分的に布設替えをしてふたをすることで、4m程度しか利用できなかった道路が、約5～6m利用可能になり、歩行者も安全に避難できる道路として整備を進めています。

市道上仁井田･戸田線

市道前原･横川線

津波避難場所ガイド

- クリナップ体育館駐車場
- 住所／四倉町細谷字小橋前11
- 面積／626㎡
- 海抜／4.0m

四倉ピックアップ

子ども祭り開催

子どもたちに好評だったバルーンアート教室

12月24日、四倉公民館で冬休み子ども祭りが開かれ、集まった子どもたちはバルーンアート教室や親子餅つき会などを楽しみました。

伸び伸びと身体表現

12月8日に、全4回のWSの成果を発表しました

宮崎県の若手ダンスユニット「んまつーポス」が、おでかけアリオスで大浦小を訪問。3、4年生を対象に身体表現のワークショップを行いました。

風物詩の暮れ市

餅つきに参加する来場者

CHECK! 動画が見られます!

年末恒例の暮れ市が12月26日、四倉仲町の商店街で開かれ、正月用品が販売されたほか、来場者につきたての餅が配られました。

青年部員がサンタに

12月16日は、四倉第二幼稚園を訪問しました

四倉町商工会青年部員がサンタクロースに扮して、地区の幼稚園や保育所を訪問し、子どもたちにお菓子などのプレゼントを手渡しました。

四倉諏訪神社で初詣

参拝者の長い行列ができた神社の境内

神社の拝殿前には大晦日の夜から多くの参拝者が行列を作り、1月1日を迎えると、それぞれの願い事を胸に手を合わせていました。

楽しいクリスマス会

Power of JAPANの協力で多数のサンタが来場

チャイルドハウスふくまるで12月19日、クリスマス会が開かれ、来場者にはプレゼントが配られ、ミュージシャンのライブなども行われました。

「豊間サッカースポーツ少年団」の軌跡

～震災を乗り越えて～

豊間地域を中心に今年で31年活動を続けている「豊間サッカースポーツ少年団」。1月3日、恒例の「初蹴り」が行われ、現役メンバー、OB、保護者など、約40名が集まり試合形式でサッカーを楽しみました。

●再開までの悩み

震災後、活動できる場所もままならず、加えて放射能に対する不安もある上に、家族や家を無くしたメンバーもいて再開に対しては多くの迷いがありました。話会いを重ねた結果、4ヵ月後の7月から練習を再開しました。

保護者の協力や理解も再開への後押しとなりました

●交流が始まる

「全国から物資の支援やJリーグのチームや長野や東京、大阪のチームからも招待されるなどの交流が始まり、とても励みになりました。今も続いています」と震災後からチームを指導している大峯伸一監督は話します。

●地域と仲間に感謝

「様々な支援がありましたが、最終的に地域や保護者、スタッフ卒団生がチームを支えています。震災で失くしたものも大きいが得られたことが大きかった。子どもたちの成長が楽しみ。すべてに感謝しています」と四家孝幸代表は話していました。

「楽しくやるのがチームカラーです」と話す四家代表

学校だより

豊間アカデミー特別授業

12月11、18日、豊間小学校で県立博物館の「はまなかあいづプロジェクト」協力による「豊間ことばの学校」の特別授業が行われました。

この取り組みはアートを通して子どもたちの観察力、思考力を高めコミュニケーション力を育てる目的で、昨年から採用されている学習プログラムです。11日は、「音楽で何が見える？音を描こう」と題し、ドビュッシーの交響曲「海」を聴いて絵を描きました。18日の最終日には、「みてみてはなそう！絵の世界」。低学年、中学年、高学年に分かれて、絵画やアートカードを使い、感じたことを発表しました。

同じ曲を聴いても色々な感じ方で表現しています

最終日にスライドで見た絵の感想をまとめました

音楽を聴いたイメージをにじみ絵で表現しました

アートカードを組み合わせて物語を創作しました

復興へ向けた動き

豊間・薄磯 区画整理後の新しい町名、町界について

12月11日に薄磯団地集会所で、15日には豊間団地集会所で、それぞれの地区の震災復興土地区画整理地内の新しい町名や町境を検討する第1回の説明会が市主催で行われました。

町区域の変更や新町名の決定までの流れの説明の後、質疑応答の時間も設けられ、住民からは「現存する地域の変更はあるのか」、「カタカナ表記は良いのか」などの質問があり、区民のこれからの町づくりへの期待感が高まっていました。

薄磯団地での説明会の様子

豊間団地での説明会のようす

町名決定までの流れを発表

新春風景

薄井神社からのご来光

初乗りを楽しむサーファーたち

薄磯地区の初日の出

平地区ピックアップ

しめ縄掛け替え

12月29日、豊間諏訪神社や八幡神社でしめ縄の掛け替えを行いました。神社総代や区役員たちが神社周りの清掃を行い、復興を願いながら、新年を迎える準備をしました。

新しいしめ縄に祈りを込めて作業しました

5年目のサンタクロース

12月20日、豊間団地に約50名のサンタクロースが今年もやって来ました。これはNPOパワーオブジャパンの企画で被災地域に震災以降、毎年全国から集めたプレゼントを届けています。

豊間団地でプレゼントを渡すサンタクロースたち

おでかけアリオス

いわきアリオス主催で全3回の日程で行われた「打楽器パフォーマンスワークショップ」。12月9日に発表会があり、児童たちの元気な演奏が披露され、最後に講師たちの演奏もありました。

最後の練習風景。上級生がまとめあげました

小名浜 元気めぐり

小名浜地区の年末年始特集

江名諏訪神社

昨年11月、総代長たちが制作したしめ縄3本を同月29日、総代長とかじの葉会のみなさんが本殿と鳥居2本に縛り付けました。

元日、参拝者は、かじの葉会が振る舞う甘酒を飲み体を温めていました。

いわき・ら・ら・ミュウ

元日から賑わいをみせる〈いわき・ら・ら・ミュウ〉。駐車場ではいわき鼓童会による和太鼓演奏が行われ、多くの来場者が見物していました。

また、先着４００人にぜんざいも振る舞われました。

小名浜諏訪神社

海色の鳥居をくぐり、小名浜諏訪神社にも多くの参拝者が今年1年の家内安全や健康、商売繁盛などを祈願しました。破魔矢や熊手など縁起物を購入する方や、おみくじを引き笑顔になる家族連れなど賑わいを見せていました。

上手にできたよ　発表会

江名幼稚園

11月27日、生活発表会が行われ、園児たちは歌や合奏、ダンスを全14演目披露しました。そら組の言語劇「ともだちほしいなおおかみくん」ではそれぞれ手作りの動物お面をかぶり、年長さんらしく堂々と発表していました。

手作りのギターを抱えて踊るそら組の女の子たち

永崎保育所

12月12日、保育発表会が行われ、劇や合奏、遊戯を全21演目披露しました。年長のきりん組は劇「うちゅうせんのうた」で永崎保育所らしい台詞があり、そのなかで5段の跳び箱を跳び、鉄棒で逆上がりをし、会場は拍手で溢れました。

劇中「世界にひとつだけの花」の手話を披露するきりん組

復興へ向けた動き

走出地区の海岸堤防工事進捗状況

地震及び津波で甚大な被害を受けた江名港海岸走出地区。災害復旧事業により海抜7.2mに堤防を嵩上げする工事が進められています。

現在、堤体の波返し部分までコンクリート打設が完了し、平成28年3月末の完成を目指し、裏法被覆工を施工しています。

現在、堤防裏法被覆工を施工中です

津波避難場所ガイド

●真福寺（別院）

●住所／中之作字勝見ヶ浦1-90
●面積　267㎡
●海抜　33.5m

●江名中学校校庭

●住所／永崎字館1
●面積　11,011㎡
●海抜　10.0m

いわき海洋調べ隊「うみラボ」復興支援賞受賞

いわき海洋調べ隊「うみラボ」とは民間で船をチャーターし、第一原発沖1.5km付近で魚を釣り、放射性物質を調べる有志の調査チームです。主要メンバーは小名浜在住の小松理虔さん、山田町在住の八木淳一さんら。〈アクアマリンふくしま〉の協力で検査をし、同隊のホームページで公開しています。その活動が「生物多様性アクション大賞2015」で特別賞の「復興支援賞」を受賞。昨年12月11日、東京で表彰式が行われ、プレゼンテーションをした小松さん。「これからも楽しく釣りをして福島の海を理解していきたい」と話していました。

小名浜ピックアップ

永崎女性の会、初バザー開催

11月28日、永崎集会所で永崎女性の会主催のバザーが行われました。甘酒を振舞い、シクラメンや手作りエコたわし、熊本のみかんなどを販売。売り上げは県道沿い花壇の花苗や肥料などに使われます。

朝採り無農薬野菜が並ぶと、あっという間に完売しました

楽しい美味しい餅つき大会

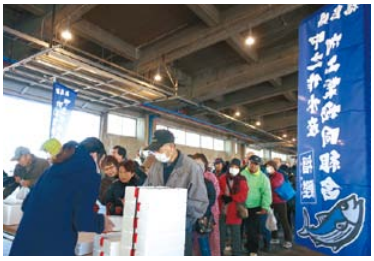
12月4日、江名幼稚園園庭で餅つき大会が行われました。臼で餅をついたあと、上手に丸めた園児たち。昼食は保護者ときな粉やいそべ餅、雑煮をお腹いっぱい食べて楽しんでいました。

手を真っ白にしながら、餅を丸める園児たち

CHECK! 動画が見られます！

師走も賑わう中之作朝市

12月19日、中之作魚市場で「第8回中之作朝市」が行われました。正月に向けて地元で製造されている水産加工品や新鮮野菜を買い込む来場者が多く、早朝から活気が溢れていました。



まぐろの切り落しを求め、並ぶ来場者

滅多に経験できない「アンコウの吊るし切り」体験に、大はしゃぎの子どもたち

CHECK! 動画が見られます!

”人の和　まちの輪　自然の環”

みんなで絆（つな）げる地域の「わ」

Part.1

昨夏に策定した「小浜・岩間地区復興グランドデザイン」に基づき、「第1回小浜と岩間『わ』の集い」が、昨年12月6日に小浜公民館で行われました。

地域文化の継承を目的とした料理教室では、地元の女性たちが同地区の伝統料理を子どもたちへ伝授。地域住民が早朝から準備を進め、アンコウを使った「どぶ汁」や、タコ飯、ネギぬたを作りました。

また同時に、防災意識の向上を目指して、周辺地図を使った図上訓練や、減災・復興支援機構の木村拓郎先生による減災講話会も実施。その後は、完成した3品の料理を参加者全員でいただきながら、交流を深めました。

今回、初の試みとなった「わ」の集い。両地区住民が協力し、大成功を収めました。

講話会の様子。両地区からおよそ100名が集まりました

慣れた手つきで、手際良くタコ飯を作るお母さん方

公民館の外でお父さん方が焼いた、甘くて美味しいネギ

初詣フォトギャラリー

國魂神社

植田八幡神社

なこその希望

サロン祭り&ダンス発表会

昨年12月19日、「なこその希望プロジェクト2015」の一環として、サロン祭りおよびダンス・ワークショップ発表会が、山田公民館で開催されました。

堂々とダンスを披露する子どもたち

CHECK! 動画が見られます!

大人気だった、カレンダーや松ぼっくりツリー制作

サロン活動で仕上げた作品の展示や、販売も実施

復興へ向けた動き

岩間町防災緑地説明会を実施

岩間町に整備される防災緑地について、市民を対象とした説明会および意見交換会が、昨年12月9日に勿来市民会館で行われました。

防災緑地の3Dイメージ映像を鑑賞したのち、県職員から現状報告と、アドバイザー・コーディネーターによる意見発表を実施。その後は参加者からの質疑応答もあり、様々な質問が寄せられました。

東京藝大、芝浦工大の計4名の先生方による意見発表

勿来学校給食共同調理場南台に完成

錦町花ノ井にあった勿来学校給食共同調理場は、震災で甚大な被害を受けたため稼動を停止し、一昨年6月から移転改築工事が進められてきました。

昨年11月末、新たな調理場が南台に完成。なお、稼動は今年4月を予定しています。

詳しくは、市教育委員会事務局・学校支援課食育給食係まで。☎0246・22・7545

これで、市内の被災した調理場が全て復旧しました

勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業

昨年12月21日、第21回が双葉町役場いわき事務所で行われました。窪田地区周辺のマップ作成について、掲載する内容やデザインなどをグループごとに協議。マップは年度内の完成を予定しています。

災害公営住宅 入居開始 勿来四沢団地・戸建

昨年12月18日、市災害公営住宅「勿来四沢団地・戸建住宅」の鍵引渡しが行われ、同月25日より入居が開始されました。

建設戸数は2LDK19戸、3LDK11戸の合わせて30戸

津波避難場所ガイド

●県立磐城農業高等学校校庭

●住所/植田町小名田60
●面積/14,160㎡
●海抜/35.4m

●八幡神社

●住所/植田町八幡台2
●面積/100㎡
●海抜/22.9m

勿来ピックアップ

地震や火災をみんなで学ぼう

12月4日、汐見が丘幼稚園で避難訓練が実施されました。地震による火災発生を想定し、園児たちは体育館へ避難。勿来消防署員も駆けつけ、講話や先生方の消火器訓練、消防車見学も行われました。

様々な機能が搭載された消防車に夢中の子どもたち

寒さに負けずゴールを目指して!

12月6日、「ふくしまっ子震災復興祈念マラソン大会」が、クレハ総合グラウンドで実施されました。市内外から約270名の子どもたちが参加。上位入賞した子どもたちには、表彰状が授与されました。

お父さんやお母さんの声援を受け、一生懸命走りました

いわき市 ふるさとだより 第56号
平成28年1月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまあじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

みんなで緑の防潮堤をつくろう!

昨年11月28日、「緑の防潮堤植樹祭」が夏井地区海岸で行われ、地元住民や関係者を含め約200名が参加しました。

緑の防潮堤は、東日本大震災で受けた津波被害の教訓を踏まえ、防災林により防潮堤の基礎部分を強化し倒壊しにくくするほか、津波を食い止める効果を高めるために防潮堤と防災林を一体化させ整備するもの。

式典では畠利行副知事、岩城光英法相らが祝辞を述べた後、藤間中学校の生徒らとともに記念植樹が行われました。また参加者は、堤防の内側に整備された盛土部分に、潮風に強いクロマツやクヌギ、コナラの苗木約2,000本を、将来沿岸部を守る木々となることを願いながら植樹しました。

植樹されたクロマツの苗木

植樹を行う参加者のみなさん

❊プチ講座❊ Part.8
なるほど!いわきの歴史コーナー
～いわきの石炭産業の父～ 片寄平蔵

文化10(1813)年2月、現在のいわき市四倉町に生まれ、28歳の時に材木商を営む叔父の婿養子となり家業を継いだ片寄平蔵。40歳の夏、神奈川県の浦賀沖にやって来た蒸気船の燃料が石炭であることを知った平蔵は、いわきに戻り石炭を探し始めました。その後、内郷白水村の弥勒沢(みろくざわ)で石炭の地層を発見。多くの人々の協力により発掘された石炭は、幕府からの大量注文もあり、俵に詰めて馬や牛で中之作港などに運び船積みされ、江戸方面へ送られました。

また、平蔵は石炭産業の道を切り開いただけではなく、和紙や乾しシイタケなど、いわきの特産物の販売にも力を入れ貿易商としても活躍しました。

いわき市石炭・化石館の敷地内に設置されている片寄平蔵像

できごと PICK UP
応急仮設住宅や災害公営住宅ほか市内各地のイベントやできごとを紹介

12月8日 初めての「たこ焼き交流会」〈作町東団地集会所〉

集会所に融通念仏宗青年会の方々が訪れ、住民にたこ焼きが振る舞われました。面前で作るたこ焼きを見て、参加者は大盛り上がり。「いろいろな人に会えるから楽しいね」と笑顔で出来立てを頬ばっていました。

市社協の主催で行われた交流会の様子

12月13日 楽しいクリスマス会〈中央台高久第一応急仮設住宅〉

田園調布学園大学の学生19名と教職員7名が、ボランティア活動に訪れました。クリスマス用リース作りとゴミ分別の標識作成を実施。会話を交えながら楽しいひとときを過ごしました。

リース作りに挑戦するみなさん

CHECK! 動画が見られます!

各地の復興工事進捗状況

市災害公営住宅 入居開始〈常磐湯本下浅貝団地〉
12月末現在

昨年12月25日、市災害公営住宅「下浅貝団地・集合住宅」の鍵引渡しが行われ、1月1日より入居が開始されました。ペット可能を含め2LDK49戸、3LDK26戸の全75戸となります。

ふるさと伝言板

将来のライフプランを無料で個別アドバイス!
「住まいと暮らしの再建相談会」

◆日時　2月13日(土)
①10:00　②13:00
③15:00 (各90分程度)
◆場所　いわき市文化センター
◆定員　9組 (各時間3組)
※お申し込みは開催日の3日前まで。
【予約・問い合わせ】
市ふるさと再生課　☎0246-22-7437

「ふるさとだより展」開催

〈いわき・ら・ら・ミュウ:2階〉
◆日程　2月2日(火)～2月25日(木)
◆休館日:2月17日(水)
〈いわき総合図書館:ラトブ5階〉
◆日程　3月2日(水)～3月27日(日)

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます!

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動するとスキャン画面になります。
③スマホをかざして画像をスキャンします。
④認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください!
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。